

令和7年10月1日

令和7年度 永耕園・光海学園地域連携推進会議 招集通知

社会福祉法人 永耕会
永耕園施設長 河辺 邦夫

秋涼の候、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。日頃は社会福祉法人永耕会の事業にご理解、ご協力を頂きましてありがとうございます。

令和7年度より、共同生活援助（グループホーム）及び障害者支援施設について、地域と施設等が連携をすることにより、利用者と地域との関係づくりや、地域の方への施設等や利用者に関する理解の促進等を目的として、施設等の外部の方を構成員とした「地域連携推進会議」を定期的開催することが義務付けられました。

永耕園・光海学園では、下記の通り「令和7年度永耕園・光海学園地域連携推進会議」を開催する事になりました。趣旨をご理解いただき、ご出席いただきますようお願いいたします。

記

- 日時 令和7年10月28日（火） 10時より12時
- 場所 永耕会会議室（コミュニティルーム）
- 出席者 曾我岸自治会長 渡辺純二様 神戸自治会長 竹下啓子様
永耕園入所者様 永耕園保護者会役員 加藤キヨ子様
社会福祉法人明星会 佐藤光夫様
- 事務局 河辺（永耕園施設長）、佐藤（光海学園園長）、加藤（永耕園支援部長）
香川（デイセンター永耕所長・永耕園副施設長）

<流れ>

- 午前10時 永耕会会議室にお集まりください
- 施設見学：光海学園、永耕園を見学します。
- 会議：見学後、永耕会コミュニティルームで会議・意見交換を行います。
 - ・各園の概要、利用者様の状況、支援の状況、人権・防災等への取組
 - ・利用者様、ご家族からのご意見、地域の皆様からのご質問、ご意見等

◇12時終了

- ・お礼としてデイセンター永耕ジョイのパン詰合せをご用意いたしております。

事務担当

社会福祉法人 永耕会

電話 0465-42-2268

FAX 0465-42-6050

河辺邦夫

令和7年10月28日

令和7年度 永耕園・光海学園地域連携推進会議 次第

社会福祉法人 永耕会
永耕園施設長 河辺邦夫
光海学園園長 佐藤大輔

- 日時 令和7年10月28日（火） 10時より12時
- 場所 永耕会コミュニティルーム
- 出席者 利用者：永耕園利用者代表委員会副会長
御家族：加藤キヨ子様（入所様のお母様）
地域関係者：渡辺純二曾我岸自治会長、竹下啓子神戸自治会長
福祉（経営）に知見のある人：社福）明星会・佐藤光夫所長
事務局：河辺（永耕園施設長）、佐藤（光海学園園長）、香川（永耕園副施設長）
加藤（永耕園支援部長）

1, 出席者の紹介

2, 永耕園・光海学園の概要説明

- ◇法人全体
- ◇光海学園
- ◇永耕園

3, 見学

4, 意見交換

- ・見学の感想
- ・それぞれのお立場からのご意見等

◎参加承諾書の提出をお願いします

◎ささやかですが、デイセンター永耕のパン工房ジョイで焼き上げたパンの詰め合わせをお持ち帰り下さい

10月28日地域連携推進会議・永耕園概要

永耕園

1, 永耕園の概要

- ◇所在地：小田原市曾我岸 148 番地永耕園
- ◇事業所の名称：永耕園 平成 24 年 4 月 1 日指定 神奈川県 1412300020 号
(施設入所事業、生活介護事業)
- ◇開設年月：昭和 38 年 4 月 1 日
- ◇管理者：河辺邦夫
- ◇入所定員：施設入所 75 名 生活介護 90 名
- ◇主たる対象者：知的障害者
- ◇併設事業：短期入所事業 定員 10 名

2, 支援内容

支援目標－100 人 100 通りの支援を目指して
理念－利用者の基本的人権を保障する支援
一人一人に合った個別的支援。
自分で選び、自分で決める本人主体の支援
地域社会の中で暮らすための支援

◇各寮の定員

- 1 寮：男性 10 名。(短期入所 1 名) 平均年齢 46 歳
 - 2 寮：男性 10 名。(短期入所 2 名) 平均年齢 34 歳
 - 3 寮：女性 25 名。(短期入所 5 名) 平均年齢 65 歳
 - 4 寮：男性 30 名。(短期入所 3 名) 平均年齢 52 歳
- 合計男性 50 名、女性 25 名。

◇1 日の日課

- 7:00 起床
- 7:30 朝食
- 9:30～11:30 日中活動 (活動のある日)
- 12:00 昼食
- 13:30～15:30 日中活動 (活動のある日)、入浴
- 18:00 夕食
- 20:00 就床

◇日中活動 (永耕園内での活動)

- ・すみれグループ男性 5 名、女性 15 名
高齢者中心。3 寮西ウイング、北ウイングで実施。
創作活動、体操、散歩、永耕祭での作品販売。

・たんぽぽグループ

男性 16 名

支援が必要な方中心、活動棟 1 階で実施。

散歩、DVD 鑑賞、缶つぶし。

永耕祭での缶飲料の販売

・五十嵐グループ

男性 8 名、女性 3 名

比較的自立されている方。五十嵐活動棟で実施。

ボールペン組み立て、箱作り、DVD 鑑賞。

・小田原フレンド製作所グループ

男性 12 名、女性 1 名

車いす使用の方や、身体面で支援が必要な方。活動棟 1 階で実施。

ボールペン組み立て、箱作り、DVD 鑑賞。

・グリフラグループ

男性 10 名、女性 5 名

屋外での活動ができる方。

屋外の作業：ジャガイモ、サツマイモなどの栽培、収穫。

屋内の作業：ドライフラワー、綿のごみ取り、キャップ分け、塗り絵

永耕園玄関前、永耕祭での販売。

・機織りグループ

男性 4 名、女性 6 名

機織作品の制作。永耕祭、ホームページでの販売。

◇日中活動（他の事業所を利用されている方）

・デイセンター永耕 男性 5 名、女性 4 名

・トゥモローランド、梅香園 男性 1 名

◇主な活動

・利用者代表委員会（自治会）

毎月第 1 水曜日に開催。各寮、各活動より選ばれた代表者で開催。

・寮活動

毎月 1 度開催。主な内容として食事作り、おやつ会等。

・永耕園旅行

利用者様の希望の基ついた旅行外出を計画実施。1~5 名程度の小グループ。

・永耕祭

毎年 11 月に永耕園緑の広場にて実施。保護者様や地域の方などに参加して頂いています。

社会福祉法人永耕会 光海学園の報告

児童福祉法に基づき、さまざまな事情により施設入所に至った18歳以下の児童に対して家庭に代わり「安心・安全・健康」な生活を送れる様に支援をおこなうと共に、社会の一員として意義ある意思決定、社会参加、自己実現に向けて、個々の能力に応じた生活が送れる様、自立と育成の促進を図る事を目的としています。

子どもと支援員が「心のつながり」を出発点に「明るく・楽しく・のびのびと」自由で活動的な雰囲気を第1目標としており、全員が小学校・中学校・支援学校へ通学する事によって、友人関係や社会経験を積んでいける様、支援を行っています。

年齢構成（男子13名、女子13名）

年齢(歳)	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	計
男子	1	1	1	0	1	1	0	0	2	0	1	2	3	13名
女子	0	0	0	0	1	1	2	4	2	0	2	1	0	13名
計	1	1	1	0	2	2	2	4	4	0	3	3	3	26名

平均年齢／男子13.9歳／女子13.4歳／全体平均年齢13.7歳（令和7年10月1日現在）

児童の就学状況

幼稚園	年少	年中	年長	合計
東富水幼稚園	0	0	1	1名

学校	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
下曾我小学校	1	0	1	1	1	3	7名
千代中学校	3	4	1				8名
小田原支援学校 中学部	0	0	1				1名
小田原支援学校 高等部	2	4	3				9名

（令和7年10月1日現在）

障害の程度	男子	女子	合計
A1(最重度)	1	0	1名
A2(重度)	1	0	1名
B1(中度)	5	1	6名
B2(軽度)	6	11	17名
未判定	0	1	1名
合計	13名	13名	26名

(令和7年度10月1日現在)

児童相談所別入所数

児童相談所	小田原	平塚	中央	厚木	綾瀬	横須賀	鎌倉三浦	計
児童数	9(3)	7(0)	3(0)	2(0)	2(0)	0(0)	0(0)	23(3)名

数字は措置児童数 * 契約児童は()内に表示

(令和7年10月1日現在)

<余暇支援、地域との交流について>

岸子ども会による「子ども神輿」への参加や大行事である「永耕祭」では、地域の方々や関係者、学校の先生や友達との交流の場となっており、その他にも学園内イベントとして夏祭りやクリスマス会、季節の行事(こどもの日・七夕・ハロウィン・ひなまつりなど)をおこなっています。

楽しめる様々なレクリエーションを企画する中で、参加したいイベントを自ら選び参加し、その経験を増やしていく事が生活の幅を広げ「意思形成支援」につながり、友達や職員と一緒に参加する事で肯定的な体験を積み重ね「自分で選んだ、みんなで話しあった、楽しかった」などと思える機会となるよう支援しています。

今年度より「下曾我ボランティア」来園が再開いたしまして、学校関係に必要な体操着袋や上履き入れ袋などを製作していただくなど学園の支えとなっています。

<権利擁護の取り組みについて>

子ども会議を定期的で開催しており、学園生活の充実を目的に日課やレクリエーションなどの検討、情報共有など話し合いの場として取り組んでいます。また、子どものアンケート(年2回)、県西地区権利擁護ネットワーク(KW ネット)相談員が来園されるなど、子どもたちの意見、気持ちを聞く事で児童が「聞いてもらえた」「受け止めてもらえた」と実感し、自己肯定感が育まれるよう取り組んでいます。

所管小田原児童相談所との定例連絡会(年2回)及び人権委員会(年2回)開催をおこなっており、職員対象の人権研修、日々の支援状況や課題について意見交換、情報共有するなど連携を図っています。

<防災について>

火災(夜間想定を含)における初期消火、避難訓練を月1回実施しています、その他にも地震、風水害など大規模災害の訓練や防災備蓄倉庫の確認や炊き出し訓練などおこなっています。

地域連携推進会議

2025年度 永耕園・光海学園

管 理 者		部 長		担 当	
-------------	--	--------	--	--------	--

実施日時 2025 年 10 月 28 日 火 曜 日 10 時 00分から 11時 30分まで

参加者： 下記参照

司会 河辺

記録者 香川

場 所 永耕園コミュニティールーム

NO. 1

*出席者：利用者：永耕園利用者代表委員会副会長 様 ・ご家族：加藤キヨ子様（入所者様のお母様）

地域関係：曾我岸地区自治会長渡辺純二様・神戸地区自治会長竹下啓子様

福祉に知見のある方：明星会佐藤光男様

事務局：河辺（永耕園管理者）、佐藤（光海学園管理者）、加藤（永耕園支援部長）

香川（デイセンター永耕所長）

*施設見学：永耕園・光海学園・第1ホーム

*ホームの概要説明：別紙参照

*意見交換

・見学の感想

渡辺様：地域で生活しているが中身は知らない状態だったので、改めて見学をさせて頂きよかった。

作品展でリースや機織り作品を出展してもらっているが、作っているところを見ることができて
ありがたみを感じた。今後、散歩している利用者さんを見かけたら声をかけていきたい。

永耕祭で以前はお囃子を呼んで頂いていた。また呼んでもらえると発表する場になる。

竹下様：施設の中を見せて頂き、きめ細やかな支援を行っている印象を受けた。下曾我で生まれ育ってい
るが、子どもころは光海学園の子たちと一緒に学んでいた。遠いようで近くにいる存在だと感
じた。見学をさせて頂いていろいろ納得できた。

佐藤様：永耕会の歴史を感じた。古くから地域の中で支えてもらっていると聞いて素晴らしいと思った。

地域の方は施設の中で何をやっているのか分からないと思うが、今回のような見学会があると安
心感がある。下曾我地区に施設があることに羨ましく感じた。

加藤様：地域の自治会の方に理解して頂けていることは、保護者としてとても嬉しいです。これからも声
をかけて頂きたい。

入所者様：永耕祭に向けて作品作りをがんばっている。永耕祭ではお姉さんと姪っこが来てくれる。

質疑応答

佐藤様：永耕園の利用者の外出の機会はあるのか？

→加藤：少数で職員と一緒に外食など出かける機会を2～3ヶ月に1度設けている。

竹下様：利用者のお小遣いはどうなっているか？

→加藤：基本的には利用者の年金は永耕園が管理していて、その都度お渡ししている。自分でお金を管理できる人は週のお小遣いを渡している。

佐藤：光海学園では、子ども達に年金がないので措置費から月に1000円～2000円を渡している。欲しいものがある場合は児童相談所などと相談しながら使っている。

渡辺様：光海学園を卒園した後の進路はどうなっているか？

佐藤：光海学園で生活をされている子は知的障害が軽度の子が多いので、だいたいは地域で仕事を見つけグループホームに入居している。住む場所は子どもの意見を尊重して探している。

・お土産にデイセンター永耕パン工房のパンをお渡ししている。